



鶉鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成26年冬号(48号)

感謝



岐阜ダルク 理事長 由井滋

岐阜ダルク10周年フォーラムには、沢山の人(280名ほど)が駆けつけて下さり、有意義な時を過ごしました。

フォーラムを重ねるごとに参加者が増え、岐阜の地域に根付いてきたことを実感し、神様と支援者の皆様に心から感謝します。

振り返ってみますと、薬物依存で絶望のどん底から名古屋ダルクにつながり、回復プログラムを実行することによって薬物を使わず過ごす生活が続く中で、自分だけでなく他の苦しんでいる人達に回復することができることを伝え、共に回復の道を歩みたい一念で、岐阜ダルクを作りたいと願う神様の導きを信じて歩んできた一女性の努力が実ったのだと思います。

この間に、多くの協力者がサポートし充実したダルクとなりました。これからも仲間とともに、12ステップの基本を忘れることなく歩むならば、社会に大きな貢献ができると信じます。

皆様、どうかこれからも岐阜ダルクを見守り育てていって下さることを切に願います。

仲間の体験談

依存症のチョコ



気付いたら、ある日、精神科の病院で入院していました。なんで自分がこうなってしまったんだろうと保護室では自問自答する日々でした。今年に入り、3回も、入院することになり、ダルクにつながって毎日、過去の自分自身を振り返る日々が今は続いています。

思春期の頃、安易な考えで薬物に手を出してしまい、時々ダイエットの為だとか音楽を楽しむためとかに使ったが、本格的にはまってしまったのは、自分自身におこる不運な出来事を忘れてたくて現実逃避したいと思うようになったころでした。常にアルコールや薬物を使い、シラフの状態にいる方が自分にとって苦痛で、そういう苦痛から私は逃げていた。身内に不幸が起こってからは、法律にふれていないから大丈夫という考えに変わり、危険ドラッグにはまりました。量は次第に増えていつの間にか毎日やっていることが普通になっていました。

一年前から、もう危険ドラッグもやめているが、普通の生活に戻り、ある日から幻聴や不眠などが出てきました。自分のしてきたことで普通の生活すら送れなくなってしまったのが今の私の現状です。もっと自分自身を大切にすればよかったと心底、後悔しました。

今は、自己肯定感や自尊心などの修復や向上を学んでいます。自分のしてきた事で傷つけた人や自分自身の為に成長していきたいです。

薬物依存症 ほくら



初めて脱法ハーブ類を使い始めたのは約2年前で、使うと頭が冴えて体もよく動いたので楽しかった。その品は、眠れなくなる効果もあったので、仕事でも使えると思った。色々な種類の品があったので、ネット内で口コミを読み漁った。そして実際に買って試し始めた。楽しかった。多幸感を得られるものを使い始めたときから、もっと強い品を試したくなり使ってみると、普通に生きていては一生の内一度か二度しか味わう事が出来ないと思える程の最高の気持ちよさに打ちのめされ、幻覚や幻聴からは目の前に広がるのは桃源郷・天上から響く美しい調べ・そして酒池肉林を楽しんだ。

それからは、薬と自分の立場は完全に逆転した。半年が経っていた。毎月薬に使う金額がどんどん増え、貯金にも手を付けていった。新しい服がほとんど買えなくなった。昼、眼球を動かす度、小さな虫が動くように見えた。足の皮が裂けて体液がこぼれ出た。夜、猫の目の様に瞳孔が開いた姿を鏡に写して笑った。

二年経って上司や親に告白した。薬と縁を切る為ダルクを姉に紹介された。ダルクでの正しい生活習慣を身に付ける毎日はとても幸せに思う。

危険ドラッグに手を出さない

岐阜大学 研究推進・社会連携機構
特任教授 小田 博久



近年、わが国においてお香やアロマ用と称して脱法ハーブが流通しており、その乱用による健康被害やそれから波及する交通事故が大きな社会問題となっています。本稿では、薬剤師の立場から脱法ハーブ（現在は危険ドラッグと呼ぶ）の概要、危険性、法規制などをひも解きます。

ハーブは料理・お茶用、入浴剤など香りを楽しむばかりでなく、リラックス効果、免疫力向上なども認められ、正しく使えば有用な素材です。ハーブを隠れみのに、乾燥した植物片に陶酔や興奮の作用がある化学物質を混ぜたものが脱法ハーブと呼ばれ、ちまたの販売店やインターネット、最近では自販機からでも、簡易に購入することができます。吸煙すると異常な言動や呼吸困難を誘発し急性中毒死に至ることもあり、中毒死の犠牲者は急増しています。

このハーブもどきは2004年に欧米で流通し始め、日本には2010年に上陸してきました。警察庁と厚生労働省は社会問題化している現状を危惧し2014年7月22日、「脱法ハーブ」から新たに「危険ドラッグ」へと呼称を変更しました。麻薬以上に興奮や幻覚作用がある薬物も含まれ、脱法という表現が危険性を誤認させる恐れがある、との理由からです。厚生省研究班によると、薬物依存として、危険ドラッグが覚醒剤に次ぐ第2位とのことです。危険ドラッグの使用経験者は40万人にのぼり平均年齢は33.8歳で高校生はもとより中学生も相当数含まれています。危険ドラッグは、覚醒剤や麻薬の常習に至る入口とも見られています。

麻の一種である大麻（たいま）の花穂や葉の乾燥品がマリファナと呼ばれ、主成分のテトラヒドロカンナビノールという物質が脳内の中枢神経に作用し、興奮や幻覚を引き起こします。この物質は厚生省の薬事法による指定薬物として規制を受けています。

危険ドラッグはこのテトラヒドロカンナビノールの化学構造の一部を改変した物質Aを植物片に混和したものです。物質Aが検挙され指定薬物になりAは違法とされます。すると、すかさず改変した別の物質Bが出回ります。Bは摘発され法規制されるまでは違法ではありません。このように法を脱した新たな薬物C、D・・・が次々と出てきます。法をすりぬける「いたちごっこ」です。2年前までは68種だった指定薬物が140種類まで一気に増えました。そこでこの4月から英国にならい「包括指定」という制度を導入し、似たような構造のものもまとめて規制できるようになりました。以前は製造者・販売者だけが検挙の対象でしたが、同じく4月より購入者・所持者も含まれるようになりました。違反者には3年以下の懲役または300万円以下の罰金が科されます。地方自治体も独自に条例を策定し、知事指定薬物の取り締り強化に乗り出しました。

基本の化学構造を変え、強い作用を有する得体の知れない違法な薬物が現在も続々海外で密造され世界的に出回っています。比較的高価格で取引される日本は狙い撃ちにされています。好奇心から安易に吸煙すると、興奮、嘔吐、錯乱、酩酊状態、頻脈、けいれん、呼吸困難など重篤な障害が待ち受けていて、依存性もあり身を滅ぼします。自分一人だけでなく、交通事故など周囲へ二次的な害を及ぼすことは昨今の報道で明らかです。危険ドラッグは生命をおびやかす大変危険なものであることを認識し、「絶対に手を出さない、そして周りの人にもさせない」これが緊要であることを最後に箴言としておきたいと思います。

11/24
岐阜市のふれあい
福祉会館にて開催。

岐阜ダルク 10周年フォーラム

Just for today 今日だけ

元みのわマック施設長 山本 晋一様



Rehabilitation Center

アル中は言い訳がうまい。自分をごまかす。初めは自分の考えを使わない方がいい、プログラムの考えに持っていくという話になつている仲間がたくさんいました。



秋田・東京・茨木・栃木・静岡・駿河・三河・名古屋・びわこ・京都・鳥取・岡山・宮崎・鹿児島など全国ダルクの仲間、他施設や自助グループの仲間、そして依存症者の家族、関係機関、一般の方々とフォーラムを分かち合うことができ喜びでいっぱいの日となりました。これからも地道にコツコツと活動を続けていきたいと思っております。



お祝いと会場募金合わせて354,484円をいただき、心からお礼申し上げます。

アンケート結果

- ・ 専門家の話、当事者の話、家族の話、・ 沢山の立場の方からお話を聞いたのがありがたかったです。(司法関係者)
- ・ 依存症当事者の方のお話を初めて聞きました。「12ステップ」のもつ力のすごさを感じました。山本さんが、この人生を誰のせいにも(時代や社会のせいにも)されないと素晴らしいと思いました。(行政関係者)
- ・ 薬物依存症者へのサポートはもっと必要だと思いましたが、まず本人がやる気にならないと始まらないことがよくわかりました。(行政関係者)
- ・ 自分の気持ちを代弁してくれる様な話を沢山聞きました。沢山の人が今日一日と必死に生きているんだという事を再確認できました。ありがとうございます。(依存症当事者)
- ・ DVDの一般市民へのインタビューを見て、あまりに薬物依存症に対する認識が浅いことに驚かされた。そんな中、ダルクの立ち上げや存続の為に支援・協力を惜しまない周りの人々がいる事に胸が熱くなった。(依存症者の家族)
- ・ 子供の問題から自分自身の問題にシフトを変え(随分時間がかかりましたが)自分自身の生き方を変えていこうと心から思えるようになったのが感謝です。(依存症者の家族)
- ・ 講演されている方が、皆明るく生き生きているのが本当に良かったです。このフォーラムに来て、又自分自身も前に向け強く生きていくような気分を頂きました。(依存症者の家族)
- ・ 今日のフォーラムをうかがいながら、きっとここに至るまでに沢山の出会いや出来事があったらうなと少ししみじみ感じました。その歩みの中で私自身も少しでも関わられた事、そうして今日、こうしてこの場に居られる事をとても嬉しく思いました。(行政関係者)
- ・ ビデオ上映はとてもわかりやすく興味深く見せていただきました。(行政関係者)

9/28 岐阜県の助成を受けて大垣総合福祉会館にてミニフォーラム開催



岐阜ダルクミニフォーラム
薬物依存症は病気です

今回、初のミニフォーラムを大垣市で開きました。いつもの事ですが、緊張しました。次回ミニフォーラムは、来年の3月、多治見市です。来てくださーい。

人ごとじゃあないな... 断る勇気が必要なんだあ...

11/1 下呂市立馬瀬中学校講演



11/2



一宮カトリック教会バザー参加
「お兄さん、もっと安くしてよ〜」



11/28 助成金贈呈式
みずほ福祉助成財団様より助成金をいただきました。空調機器5台、網戸や手すり取り付けに充てさせていただきます。

11/20

岐阜ルーテル教会のBBQに招いていただきました。お肉やお魚などご馳走でお腹も心も満たされた。



活動報告

今後の活動予定

10月

- 2 ニュースレター発送作業
- 4 OAオープンスピーカー参加、美濃市立美濃中学校講演
- 6 各務原病院ハイジーンズメッセージ
- 8 薬物電話相談日
- 11 秋山ダルクフォーラム参加・薬物電話相談日
- 12 大垣ルーテル教会にて活動紹介・岐阜ダルク家族会
- 14 各務原病院4フロアメッセージ
- 15 笠松刑務所薬物離脱指導
- 16 加茂農林高等学校講演・ダルク後援会会議
- 19 岐阜カトリック教会バザーボランティア
- 21 笠松刑務所薬物離脱指導
- 25 薬物電話相談日
- 26 羽島キリスト教会活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 27 レクリエーション(映画)
- 28 笠松刑務所薬物離脱指導
- フラワーセラピー
- 31 サービス管理責任者共通講演

11月

- 1 下呂市立馬瀬中学校講演・NAハロウィンフォローアップ参加、一宮カトリック教会バザー講演
- 2 一宮カトリック教会バザー参加
- 4 クロッカス
- 5 笠松刑務所薬物離脱指導
- 6 ダルク後援会会議
- 8 薬物電話相談日
- 岐阜ルーテル教会バザーボランティア
- 9 ルーテル教会バザーボランティア、愛知家教会定例会講演、いびがマラソン参加、岐阜ダルク家族会
- 12 薬物電話相談日
- 13-16 JCCA参加
- 14 野宿生活者支援ボランティア
- 15 野宿生活者支援フォーラム参加
- 16 本曾川キリスト教会活動紹介、フラワーセラピー
- 20 岐阜ルーテル教会バーベキュー参加
- 22 薬物電話相談日、びわこダルクフォーラム参加
- 23 岐阜キリスト教会活動紹介・岐阜ダルク家族会
- 24 岐阜ダルク10周年フォーラム
- 26 笠松刑務所薬物離脱指導
- 28 みずほ福祉助成財団助成金贈呈式
- 30 比島ダルクフォーラム参加
- 日本キリスト教会 岐阜教会にて活動紹介

12月

- 4 ダルク後援会
 - 8 ニュースレター印刷作業
 - 10 ニュースレター発送作業
 - 11 サービス管理責任者研修会
 - 12 サービス管理責任者研修会
 - ・ 野宿生活者支援ボランティア
 - 13 薬物電話相談日
 - 14 NAスポーツイベント参加・岐阜ダルク家族会
 - 15 岐阜保護観察所引受人会講
 - 16 笠松刑務所薬物離脱指導
 - 17 笠松刑務所薬物離脱指導
 - 20 香川ダルクフォーラム
 - 21 岐阜ルーテル教会クリスマス会
 - 22 ダルクスタッフミーティング
 - 23 フラワーセラピー
 - 27 薬物電話相談日
 - 28 岐阜ダルク家族会
- 9 野宿生活者支援ボランティア
10 薬物電話相談日
11 多治見中央キリスト教会活動紹介
14 薬物電話相談日

女性ハウスだより

岐阜ダルク女性ハウス
責任者 勇陽子



ニューズレターを読んで頂いている皆様、お変わりなく過ごしていらっしゃるでしょうか。

現在、女性ハウスを利用している仲間は2名です。1人は、入所して5ヶ月程です。

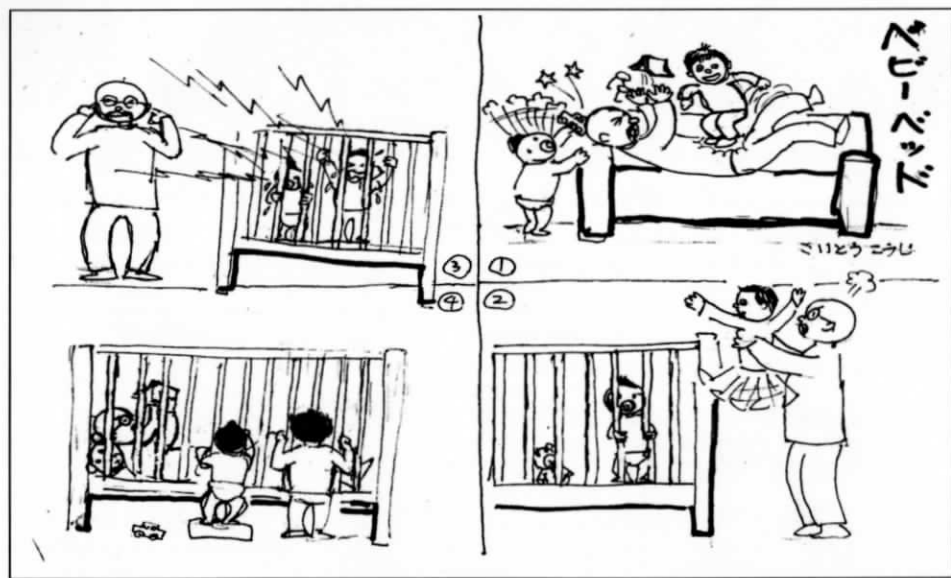
もう1人は、2ヶ月経ちました。

古い生活習慣から、少しずつ変化している姿を見ると、ひそかに嬉しいという気持ちになります。ひそかにしてなくてもいいと思いますが、そうしてしまいます。

いつかダルクのプログラムを経て、NAへつながり続けられたらいいなと思う時はあります。けれども、今日一日のプログラムなので、先の事はハイパーパワーにお任せし、私は私の役割をします。

11月24日は岐阜ダルク10周年フォーラムを開催することが出来、沢山の方が来てくださいました。私は、まだ岐阜ダルクに来て1年8ヶ月ですが、フォーラムでは、こんなに沢山の方々に支えて頂いている所で働けることが幸せだと思いました。

いつも支えていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



(まんが 岐阜ダルク後援会 会長 齋藤幸二)

フォーラムを終えて

岐阜ダルク施設長 遠山香

10周年フォーラム
Just for today



10周年フォーラムでは「街角インタビュー」と題して、大学の学生さんや長良川河川敷や柳ヶ瀬商店街、岐阜公園や岐阜駅に向いて市民に声をかけ、薬物依存症についてどのような認識を持っているかいろいろな質問に答えてもらった後、ダルクの仲間にも薬物依存症の病気の現状について答えてもらった15分のビデオを制作し会場で上映した。

声かけに何度も断られたり編集の苦労もあったりしたが、仲間達とみんなで作ったビデオの出来栄はなかなか好評でうれしかった。

新しいことに初めてとりかかる時は不安や心配が先に立つが、行動を起こすとワクワクしてきて楽しむようになる。

今回ビデオを制作する中で、薬物依存症は社会ではまだまだ理解が少ない病気だということ改めて実感した。これからもダルクのことや薬物依存症は治療をすれば良くなる病気だということをついそう発信していきたい。

後援会だより

岐阜ダルク後援会 広報 鈴木輝一郎



大垣ルーテル教会の齋藤幸二牧師から「鈴木さん、アル中だからヤク中の気持ち、わかるでしょ？お手伝いお願いしますね」と言われたのが（なんと凄いな理由だ。ちなみにぼくはアルコール依存症がきっかけでルーテル教会に通い始めました）平成22年の夏だったので、もう4年になります。

もとは多忙な齋藤先生の補佐という形でした。ぼくの本職は歴史小説や推理小説を書いて生活している職業小説家です。「なにか小説のネタが拾えないか」という下心まんまんで齋藤先生の誘いに乗って、今日にいたっています。

小説にするにはダルクの日々は難しく、どういう切り口でストーリーを組んだらいいのか見当がつかないので、まだ手付かずのままです。

後援会の会議で遠山さんたちから会計報告と活動報告を受け、チェックするのが月に1度、そのほかに年5回の会報の編集と発送がおもな仕事。

ちなみに後援会は非常勤なので全員が無報酬です。

ダルクの仲間たちと話すのはおおむね一ヶ月おき。そのため、入所したばかりの仲間が急速に血色がよくなり、表情が明るくなることにリアルタイムで遭遇します。

「人間が幸福を知るにつれて顔が変わる」現場に居合わせる経験は、そうあるものじゃない。ときどき鏡をのぞきこんで「あんな幸せそうな顔をしているだろうか」と自分に問うことが、けっこうあります。おもしろいもんです。

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名（9月7日～10月27日）

須田敦子 山田慶子 同盟福音基督教会岐阜キリスト教会 カトリック岐阜教会 堀尾佳広 松村光
北谷雅春 勇昭代 池田時造 田口大輔 今川キメ子・希美代 松井康代 渡辺真帆 蜂谷文雄 土岐
保護司会・出口満知子 川原聖 中西東峯 佐藤君子 岐阜加納教会婦人会 弁護士・伊藤知恵子 朝
居良治 伊藤公一 末守良重 カトリック津島教会 大垣荒尾教会・山信彦 葛西紀子 永嶋恵美 伊
藤和子 清水宗夫 田中英子 石黒彩子 曾我部好夫 カトリック神言修道会多治見教会 矢野幸子
岐阜市更生保護女性会会長・細江由喜子 聖泉キリスト教会 市岡多賀賜 齋藤幸二 高富恵みバプテ
スト教会の皆様 関キリスト教会の皆様 大垣ルーテル教会の皆様 羽島キリスト教会の皆様
匿名者多数 ※7月に大垣カトリック教会の皆様と8月に揖斐キリスト教会の皆様の記事漏れがありお
詫び申し上げます。

献品者名

市岡多賀賜 棚橋幸子 葛西紀子 カトリック岐阜教会 柳原 日置芳夫 益田清風高校・今井りえ子

※お名前の記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前の誤字・脱字または記載漏れなどござ
いましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名
希望の方は、恐れいたしますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い申し上
げます。

※岐阜ダルクでは毎月60万円程度の活動資金を必要としておりますが、その多くを皆様方からのご寄付によ
っております。引き続き皆様方のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

※岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

●施設からのお願い

- ・キッチンの食器棚や事務所の本棚を手作りしたいため材料となる木材がたくさん必要です。
電動糸のこや電動カンナも必要です。木材や工具を頂ける方がいらしたらダルクまでご連絡下
さい。また、スノーボードウェア（上下）男性用Lサイズ・女性用M・Lサイズ、スノーボ
ード用手袋などがありましたら譲って下さい。（058-251-6922まで）

🌸 岐阜ダルクミニフォーラム開催 🌸

日時：平成27年3月14日（土）13:00～15:30（受付12:30）

場所：多治見市文化会館

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX：058-251-6922
Email：gifu-darc2004@yahoo.co.jp
ホームページ：http://gifu-darc.sakura.ne.jp/
ダルク日記『今日もぐるぐる』：http://darcblog.ablo.jp/
2014年岐阜ダルクニュースレター平成26年冬号（No.48）
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

※本紙は、公益財団法人日工組社会安全財団の助成を受けて発行しています。